



1
11/4 sat.
14:00-15:30

ホワイトハンドコーラス
—音楽でつなぐ
インクルーシブな未来

コロナ えりか
ソプラノ歌手
ホワイトハンドコーラスNIPPON芸術監督



2
11/17 fri.
19:00-20:30

エンゼルケアに学ぶ
—コロナ下で父を弔う

柳瀬 博一 東京工業大学
リベラルアーツ研究教育院教授



3
12/1 fri.
19:00-20:30

脳とこころに効く科学

元村 有希子 毎日新聞社 論説委員



4
12/15 fri.
19:00-20:30

極地冒険家の帰還
—いま、子どもたちに

荻田 泰永 北極冒険家

自分をひらく ケア



5
1/12 fri.
19:00-20:30

ルーツをめぐる旅で
見えたこと

—在日コリアンの歴史から次世代へ

安田 菜津紀 認定NPO法人 Dialogue for People 副代表
フォトジャーナリスト



6
1/26 fri.
19:00-20:30

よるべなき
人たちとともに

—救護施設での3年間

御代田 太一 文筆家・元救護施設生活支援員



7
2/9 fri.
19:00-20:30

文章に向き合い、
耳をすます

—校正者という仕事

牟田 都子 校正者



8
2/24 sat.
14:00-15:30

いま、なぜ
『万葉集』全英訳か?

ピーター・J・マクミラン 翻訳家・詩人

第二期生 (2023年度後期受講生) 募集中!

お申し込みはコチラ▶



お問合せ: たちばな教養学校 Ukon 事務局 (京都橋大学 生涯教育・通信教育課) TEL: 075-574-4335 MAIL: ukon@tachibana-u.ac.jp



大人だって未完だ。

私たちの人生や社会は、容易に答えの見つからない厄介な事柄に溢れています。
そんな岐路に立たされたとき、思いがけない出会いや体験があなたを支えてくれるかもしれません。
たちばな教養学校 Ukonは、多様な他者との共助・協働＝〈ケア〉の精神に支えられた
寛容な社会をめざします。

より自由に、しなやかに。未来にむかった世界への広がりを感じながら、
「生きる」をもっと深く味わってみませんか。

学頭・読書案内人
河野通和



2023年度後期テーマ

自分をひらくケア——「つながる」ことへのレッスン

0	2023年11月3日(金・祝) 14:00~17:00(予定) 「ホワイトハンドコーラスNIPPON freude! よろこびの歌」上映会@京都市内		
	授業日程/テーマ		講師プロフィール
1	2023年11月4日(土) 14:00~15:30 ホワイトハンドコーラス ——音楽でつなぐインクルーシブな未来		コロン えりか ベネズエラ生まれ。聖心女子大学、大学院で教育学を学んだ後、英国王立音楽院卒業。国内外で演奏活動を続けながら、ホワイトハンドコーラスNIPPONの芸術監督として、視覚・聴覚など障害のある子どもたちに音楽を教えている。
2	2023年11月17日(金) 19:00~20:30 エンゼルケアに学ぶ ——コロナ下で父を弔う		柳瀬 博一 (やなせ・ひろいち) 1964年静岡県生まれ。日経BP社で雑誌、書籍、webメディアの編集・広告プロデューサーを経て2018年より現職。『国道16号線「日本」を創った道』『親父の納棺』。共著書に『「奇跡の自然」の守りかた』『混ぜる教育』など。
3	2023年12月1日(金) 19:00~20:30 脳とところに効く科学		元村 有希子 (もとむら・ゆきこ) 九州大教育学部を卒業後、毎日新聞入社。東京本社科学環境部記者、同部長などを経て2019年から論説委員。朝刊にコラム「水説」を連載。専門は科学コミュニケーション。近著に「科学のトリセツ」(毎日新聞出版)。趣味は山歩き、数独。
4	2023年12月15日(金) 19:00~20:30 極地冒険家の帰還 ——いま、子どもたちに		荻田 泰永 (おぎた・やすなが) 1977年神奈川県生まれ。北極冒険家。日本人初の南極点無補給単独徒歩到達。第22回植村直己冒険賞受賞。著書「考える脚」で第9回梅村忠夫山と探検文学賞。井上奈奈との共著の絵本「PIHOTEK 北極を風と歩く」が第28回日本絵本賞大賞受賞。
5	2024年1月12日(金) 19:00~20:30 ルーツをめぐる旅で見えたこと ——在日コリアンの歴史から次世代へ		安田 葉津紀 (やすだ・なつき) 東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄への手紙 ルーツを巡る旅の先に』(ハウレーカ)他。
6	2024年1月26日(金) 19:00~20:30 よるべなき人たちとともに ——救護施設での3年間		御代田 太一 (みよだ・たいち) 1994年神奈川県生まれ。大学卒業後、ホームレスや刑務所出所者を受け止める「最後のセーフティネット」である「救護施設」にて生活支援員として従事。著書に『よるべない100人のそばに居る。(救護施設ひのたに園)とぼく』。
7	2024年2月9日(金) 19:00~20:30 文章に向き合い、耳をすます ——校正者という仕事		牟田 都子 (むた・さとこ) 1977年東京都生まれ。校正者。担当書に、若松英輔『悲しみの秘義』、後藤正文『何度でもオールライトと歌え』、山崎ナオコーラ『プスの自信の持ち方』、村井理子『家族』他多数。著書に、『文にあたる』。
8	2024年2月24日(土) 14:00~15:30 いま、なぜ『万葉集』全英訳か?		ピーター・J・マクミラン (Peter MacMillan) アイルランド生まれ。相模女子大学客員教授・東京大学非常勤講師・武蔵野大学客員教授。著書に『英語で味わう万葉集』『松尾芭蕉を旅する』など多数。朝日新聞、京都新聞で連載中。またNHK WORLDやKBS京都ラジオの番組に出演している。

第二期生募集中!

たちばな教養学校 Ukon

2023年11月4日(土)~2024年2月24日(土)の期間における全8回

会場:QUESTION 7F「クリエイティブコモンズ」

定員:各回100名(先着順)対面

受講料:全8回一括お申し込み 15,000円

各回お申し込み 1回 2,500円

特典:
①11月3日(金・祝)上映会ご招待
②Ukonオリジナルグッズ
③オンデマンド授業の無料視聴

お申し込み:たちばな教養学校 Ukon 特設サイトよりお申し込みください。▶

*第一期のオンデマンド授業は11月上旬配信START



○京都市営地下鉄東西線「京都市役所前駅」1番出入口より徒歩約1分
○阪急電車「三条駅」12番出口より徒歩約5分

〒604-8006 京都市中京区河原町通御池地下下丸屋町390-2

お問合せ:たちばな教養学校 Ukon 事務局(京都橘大学 生涯教育・通信教育課) TEL:075-574-4335 MAIL:ukon@tachibana-u.ac.jp